

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、松下、桐原、松本、湊

2. 山城／ルート

北ア・西穂高岳

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2015 年 4 月 11 日><下山日 2015 年 4 月 12 日>

4/10 三宮発 22:00→道の駅新穂上宝（仮眠）

4/11（曇り）新穂鍋平駐車場――西穂高口駅 9:25→西穂山荘テント設営 10:40～11:50
→丸山 12:10 →独標 13:20～14:25→丸山 15:00→西穂山荘 15:20（テント泊）

4/12（快晴）起床 2:30 出発 4:25→丸山 4:40→独標 5:30～5:55→ピラミッドピーク
8:35～8:40→西穂高岳 7:15～7:50→ピラミッドピーク 8:35～8:40→独標 9:00
～9:20→丸山 9:45→西穂山荘テント撤収 9:55～11:05→西穂高口駅 11:50

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

・ 予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

・ 特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・ なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・ 4/11 は独標までピストンしてルート、雪の状況など事前に確認できた。

・ 3 峰のトラバースは雪が少なく夏道も出ていたので問題なかった。

・ ピラミッドピークから 7 峰間の細い稜線も雪が少なく何の問題も無かった。

・ 西穂高岳直下の雪壁は、早い時間帯であったのでアイゼンの歯がよく効いて、ロープを必要としなかった。下降者がいたので一部雪壁左側の岩を登る。

・ 全体的に西穂高岳までの稜線、斜面、岩稜は雪が少なめであった。

・ 2 月より計画をスタートさせ、トレーニング、ミーティングなどを通じてメンバー間のコミュニケーションが図れ、メンバーシップを重視したチームとして登山できたことが大きな収穫であった。その中で個々の技術的な向上を図れた。

報告者氏名 南山房啓



西穂高岳直下の雪壁



奥穂高・槍方面



西穂高岳山頂



6峰トラバースと
ピラミッドピーク